関東地方

名前

問1　主要な空港における旅客数の内訳を比較した際、東京国際空港（羽田空港）が「国内移動の拠点」として機能していることを示す具体的なデータの説明として、正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 国際線が占める割合が年々減少しており、現在は国内線専用の空港として特化している。
2. 国際線の利用者数が成田国際空港を大きく上回り、旅客構成のほとんどを海外渡航者が占めている。
3. 輸出入額の統計において、国内向けの貨物輸送量が国際貨物の輸送量を上回っている。
4. 旅客数全体を示す指標の中で、国内線の利用者が占める割合が国際線の利用者よりも数倍大きい。

問2　関東地方の太平洋側に突き出た半島状の地形を持ち、野菜の産出額が約863億円、果実の産出額が約854億円にのぼるなど、農業が非常に盛んな県はどこですか。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 茨城県
2. 千葉県
3. 埼玉県
4. 神奈川県

問3　千葉県浦安市付近の地形図を用いた地域調査において、河川沿いに位置する「建物が密集し、細い路地が入り組んだ古い商家の建物が残る地区」を調査対象としました。このような地区の景観や土地利用に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 古くからの町並みや伝統的な商業活動の面影を残す地区
2. 等高線が密に描かれる、傾斜地の森林を切り開いた住宅地
3. 近年、大規模な再開発によって計画的に整備された新市街地
4. 高度経済成長期以降に海を埋め立てて造成された工業地帯

問4　都市の人口構造を示す「昼夜間人口比率（夜間人口を100とした時の昼間人口の割合）」について、東京23区のようにこの比率が100を大きく超える地域の特徴として、最も適切なものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 周辺の県に比べて農地や工場が多いため、日中に周辺地域へ働きに出る人が多い。
2. 郊外に大規模なニュータウンが形成されており、夜間に多くの人々が帰宅してくる居住機能が中心である。
3. 都市の中心部にオフィスや学校が集中しており、周辺地域から多くの人々を吸い寄せている。
4. 地価が安いため、中心部に住居を構える世帯が多く、夜間人口が昼間人口を上回っている。

問5　2015年の野菜産出額の統計において、1位の北海道に続き、2位に茨城県、3位に千葉県、7位に埼玉県、9位に栃木県と、関東地方の各県が上位に多くランクインしています。このように、大都市の周辺で行われ、消費地に近い利点を生かした農業を何といいますか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）

1. 施設園芸農業
2. 高冷地農業
3. 近郊農業
4. 促成栽培

問6　ある都市の昼間人口を夜間人口で割り、それに100を掛けて算出する数値を「昼夜間人口比率」と呼びます。東京都においてこの数値が100を大きく超えている状況と、その背景について述べた文として正しいものはどれですか。（2016年 静岡県公立入試 類似）

1. 夜間の人口が昼間よりも多くなるドーナツ化現象が加速し、都心部の居住者が急増している。
2. 東京都の夜間人口が近隣都県よりも少ないため、比率が100を下回る計算となっている。
3. 近隣都県から流入する通勤・通学者が多いため、昼間の活動人口が夜間の居住人口を上回っている。
4. 昼間と夜間の人口差がほとんどないため、都市機能が一日を通じて安定していることを示している。

問7　千葉県の太平洋側に位置する九十九里浜は、弓状の平坦で単調な海岸線が約66kmにわたって続いています。川から運ばれた土砂や、周辺の海食崖が削られて生じた砂が堆積して形成された、このような地形を何と呼びますか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. リアス海岸
2. 砂浜海岸
3. 干拓地
4. フィヨルド

問8　1960年代には集落のすぐそばまで遠浅の海が迫っていた千葉県木更津市の沿岸部について、その後の地形図の変化を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. 遠浅の海を活かした大規模な水田開発が進み、県内最大の穀倉地帯へと変化した。
2. 海岸沿いに広大な針葉樹林が植栽され、林業を中心とした地域へと変化した。
3. 中央官庁や地方自治体の施設が移転・集積し、県内の政治・行政の中心地へと変化した。
4. 大規模な埋め立てが行われ、工業用地や港湾施設、工場群が広がる景観へと変化した。

問9　横浜市、川崎市、さいたま市などは、東京都心部へ通勤・通学する人々が多く住む「ベッドタウン」としての性格を持っています。これらの都市の人口統計における一般的な傾向として、正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 他地域からの通勤者が非常に多いため、昼間人口と夜間人口がほぼ一致する。
2. 昼間人口が夜間人口を大幅に上回り、昼夜間人口比率が200%を超える。
3. 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。
4. 夜間に都心部へ移動する人が多いため、夜間人口が極端に少なくなる。

問10　関東地方北部に位置し、群馬県の東側に隣接する内陸の県に関する記述です。この県は生乳の生産が非常に盛んであり、出荷される生乳の用途を統計で確認すると、その約99%が牛乳などの「飲用」として利用されています。この条件に当てはまる県名を答えなさい。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 群馬県
2. 栃木県
3. 福島県
4. 茨城県

問11　長野県、福島県、新潟県、群馬県の4県について、県名と県庁所在地の名称の関係をまとめた資料があります。この4県のうち、県名と県庁所在地の名称が異なっている県が一つだけあります。その県庁所在地の名称として正しいものはどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 長野市
2. 新潟市
3. 福島市
4. 前橋市

問12　野菜の産出額が約863億円、果実の産出額が約854億円という高い水準にある千葉県では、東京都などの大消費地に近いという利点を活かした農業が展開されています。このような農業の形態を何と呼びますか。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 粗放的農業
2. 抑制栽培
3. 近郊農業
4. 促成栽培

問13　生産農業所得統計のデータによると、関東地方は農業産額が2兆円を超える国内最大規模の農業地域であり、その内訳において「野菜」が占める割合が約41.5%と非常に高いことが特徴です。このように関東地方で野菜の生産割合が高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 冬でも温暖な気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める工夫をしているため
2. 広大な十勝平野のような土地を活用し、大規模な機械化による生産を行っているため
3. 山がちな地形を活かして、水はけの良い傾斜地で果樹栽培に特化しているため
4. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度が求められる作物を効率よく供給できるため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 旅客数全体を示す指標の中で、国内線の利用者が占める割合が国際線の利用者よりも数倍大きい。	東京国際空港は成田国際空港と比較して、圧倒的に国内線の旅客数が多いという特徴があります。これは、東京が政治・経済の定点であり、全国各地の地方空港と結ばれているためです。統計資料においても、旅客全体のうち国内線が大部分を占める構成となっており、国際線主体の成田国際空港とは明確な役割の違いが見られます。
問2	答え 2 千葉県	千葉県は房総半島を擁し、三方を海に囲まれた温暖な気候と平坦な土地を活かした農業が盛んです。統計上でも野菜と果実の産出額が共に高く、関東地方において食料供給の重要な役割を担っています。
問3	答え 1 古くからの町並みや伝統的な商業活動の面影を残す地区	地形図上で建物が密集し、路地が複雑に入り組んでいる様子は、都市計画が進む以前からの古い町並みが維持されていることを示唆しています。浦安市においては、旧町役場周辺などに漁師町としての伝統を残す商店街や古い建物が見られ、これらは直線的な道路が並ぶ埋立地（新市街地）の景観とは明確に区別されます。地形図の読図を通じて、その土地の歴史的な成り立ちを推察することが可能です。
問4	答え 3 都市の中心部にオフィスや学校が集中しており、周辺地域から多くの人々を吸い寄せている。	昼夜間人口比率が100を超える（昼間人口 ＞ 夜間人口）ということは、その地域が仕事や教育の場としての機能を強く持っていることを意味します。東京23区や大阪市中心部などがその典型例です。一方、100を下回る（昼間人口 ＜ 夜間人口）地域は、居住機能が強い「ベッドタウン（衛星都市）」としての性格が強いと判断できます。
問5	答え 3 近郊農業	東京などの大消費地を控える関東地方では、市場への近さを生かして新鮮な野菜を迅速に出荷する農業が発達しました。統計で上位に入っている茨城県や千葉県は、その代表的な地域です。輸送距離が短いため、鮮度を保ったまま市場に供給できることが大きな強みとなっています。
問6	答え 3 近隣都県から流入する通勤・通学者が多いため、昼間の活動人口が夜間の居住人口を上回っている。	昼夜間人口比率が100を超えるということは、その地域に住んでいる人（夜間人口）よりも、日中にその地域で活動している人（昼間人口）の方が多いことを意味します。東京都では、交通網の発達した近隣の県から多くの人々が流入するため、この比率が非常に高くなります。逆に、住宅地としての役割が強い周辺の都県では、昼間に人が流出するため比率が100を下回る傾向があります。
問7	答え 2 砂浜海岸	千葉県の九十九里浜は、日本を代表する砂浜海岸の一つです。山地が沈水して複雑な入り江を作るリアス海岸とは異なり、砂が堆積することで平坦で単調な景観が作られるのが特徴です。九十九里浜は背後に広大な平野（九十九里平野）を伴っており、古くから地引網漁なども盛んに行われてきました。
問8	答え 4 大規模な埋め立てが行われ、工業用地や港湾施設、工場群が広がる景観へと変化した。	木更津市の沿岸部は、高度経済成長期以降に遠浅の海が大規模に埋め立てられ、京葉工業地域の一部として発展しました。地形図上では、かつての海岸線よりも海側に「木材港」といった地名や大規模な工場、発電所、それらを結ぶ「みなと大橋」などのインフラが整備されている様子が確認できます。針葉樹林や水田が広がったという事実はなく、官公庁の集中も見られません。
問9	答え 3 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。	ベッドタウンと呼ばれる周辺都市では、朝の時間帯に都心のオフィスや学校へ向けて多くの住民が移動（流出）します。その結果、昼間にその都市に残っている人数は、夜間にそこで寝泊まりしている居住者数よりも少なくなります。つまり、昼夜間人口比率（夜間人口に対する昼間人口の割合）が100%を下回るのがこれらの都市の特徴です。
問10	答え 2 栃木県	栃木県は関東地方北部に位置する内陸県で、生乳の生産量は北海道に次いで全国第2位を誇ります。特に、首都圏という巨大な消費地に近接しているという地理的条件を活かし、鮮度が重視される飲用牛乳としての出荷割合が非常に高いのが特徴です。群馬県は栃木県の西側に位置し、茨城県は東側、福島県は北側に隣接しています。
問11	答え 4 前橋市	日本の都道府県のうち、県名と県庁所在地の名称が一致しないケースは全国に複数存在します。提示された4県のうち、長野県は長野市、福島県は福島市、新潟県は新潟市がそれぞれ県庁所在地であり名称が一致しますが、群馬県については前橋市が県庁所在地となっており、名称が異なります。このような県名と都市名が異なる事例は、中学地理の基礎知識として頻出の事項です。
問12	答え 3 近郊農業	大都市の周辺で、輸送コストを抑えつつ鮮度の高い農産物を供給する形態は近郊農業と呼ばれます。千葉県はこの近郊農業の代表的な県であり、キャベツや落花生、梨などの多様な品目が生産されています。
問13	答え 4 大消費地に近い利点を活かし、鮮度が求められる作物を効率よく供給できるため	関東地方は日本の総人口の約3分の1が集中する関東平野を有しています。野菜は穀物などに比べて鮮度劣化が早いため、消費地のすぐ近くで生産して迅速に出荷できる近郊農業のスタイルが、高い農業産額と野菜の比率に繋がっています。